

陶芸の現代をテーマとして、世界各地の近現代の陶芸作品を収集し、さまざまな展覧会を開催しています。さらには、陶磁器を通じた人的ネットワークの構築や、地域との連携などを視野に入れた活動も展開しています。

- 開館時間 ■ 10:00-18:00(入館は17:30まで)  
休館日 ■ 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)  
2024年12月29日-2025年1月3日
- 企画展(コレクション展) ■ 一般340円(団体280円)  
観覧料 ■ 大学生220円(団体160円)  
\* 団体は、20名以上となります。  
\* 特別展については、別料金となります。  
なお、特別展開催時は、特別展観覧券で企画展(コレクション展)も観覧できます。  
\* 高校生以下(未就学児を含む)は、特別展を含め、すべて無料です。  
\* 以下の手帳をお持ちの方、および付き添いの方1名まで、無料です。  
身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、  
特定医療費(指定難病)受給者証
- 住所 ■ 〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5(セラミックパークMINO内)  
電話番号 ■ 0572-28-3100 FAX番号 ■ 0572-28-3101  
美術館HP ■ <https://www.cpm-gifu.jp/museum/>

## General Information

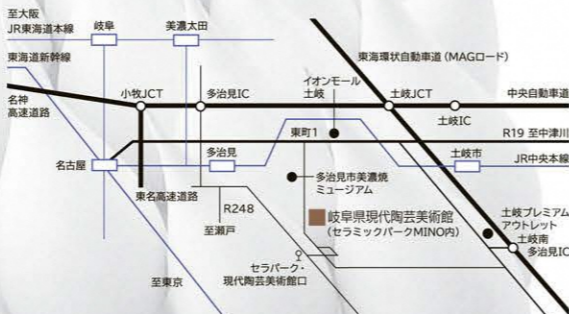
- Hours ■ 10:00-18:00 (Visitors admitted until 17:30)  
Closed Days ■ Closed on Mondays  
(Open on holiday Mondays and closed on the following weekdays)  
December 29, 2024 - January 3, 2025
- Admission Fees ■ Adults ¥340 (¥280 per person for groups of 20 or more)  
College and university students ¥220  
(¥160 per person for groups of 20 or more)  
\* Additional admission charges apply during special exhibitions.  
\* Free admission for primary and secondary school students.  
\* Persons with disability or with intractable disease and one person accompanying them are admitted free of charge.
- Address ■ 4-2-5, Higashi-machi, Tajimi-city, Gifu-prefecture, 507-0801  
TEL / FAX ■ +81-572-28-3100 / +81-572-28-3101

## 公共交通機関でのアクセス

- 東京・大阪方面→名古屋駅でJR中央本線に乗り換え  
・名古屋→多治見 快速35分
- JR中央本線多治見駅から  
・タクシー 約10分  
・多治見市コミュニティバス オリベ観光ルート 約20分  
「セラミックパークMINO」下車(土・日・祝のみ)  
・東鉄バス「瑞浪駅前」行き、「妻木上郷」行き、「駄知」行き 約15分  
「セラパーク・現代陶芸美術館口」下車 徒歩約10分

## お車でのアクセス(駐車場無料 一般312台収容)

- 東京方面: 東名高速→豊田JCT経由、新東名高速→豊田東JCT経由
- 富山方面: 東海北陸自動車道→美濃関JCT経由
- 長野方面: 中央自動車道→土岐JCT経由  
→東海環状自動車道 土岐南多治見ICから約5分
- 大阪方面: 名神高速→小牧JCT経由  
→中央自動車道 多治見ICから国道19号を土岐・中津川方面に約10分  
→東町1の交差点を右折



板橋廣美《白の運想》1987年 岐阜県現代陶芸美術館蔵



第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭  
「清流の国ぎふ」文化祭2024  
ともに・つなぐ・みらいへ ~清流文化の創造~  
2024年10月14日(月・祝)~11月24日(日)

## 岐阜県現代陶芸美術館 展覧会スケジュール 2024-2025

\* 催しの詳細および特別展観覧料は、美術館ホームページにてご確認ください。

URL <https://www.cpm-gifu.jp/museum/>



# Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

Exhibition Schedule  
2024-2025



| 展覧会スケジュール        | 2024/4   | 5                            | 6   | 7                            | 8 | 9                          | 10   | 11 | 12                          | 2025/1                                      | 2 | 3                           | 4                               |  |
|------------------|--|------------------------------|---|------------------------------|---|----------------------------|--|----|-----------------------------|---|---|-----------------------------|---------------------------------|--|
| ギャラリーI<br>【特別展】  | うつわの <b>大・中・小</b> 展<br>—大きさを、やきものを解剖する—<br>3/16-5/26 |                              | リサ・ラーソン展<br>知られざる創造の世界 —クラシックな名作とともに—<br>6/8-8/25 |                              |   | 生誕130年 荒川豊蔵展<br>9/14-11/17 |  |    | 人間国宝 加藤孝造 追悼展<br>11/30-3/16 |   |   | 人間国宝<br>鈴木藏の志野展<br>3/29-6/1 |                                 |  |
| ギャラリーII<br>【企画展】 | 展示室A (2F)  | やきもの いきもの<br>4/20-6/30       |   | 東海の陶造形<br>7/13-9/29          |   |                            | 美濃焼展<br>(セラミックバレエ展) (仮称)<br>10/18-11/17        |    |                             | MoMCAグローイング・プロジェクト そだてる☆<br>11/30-2025/4/13 |   |                             | コレクション・ハイライト<br>11/30-2025/4/13 |  |
|                  | 展示室B,C,D (3F)  | 令和4(2022)年度新収蔵品<br>4/20-6/30 |   | 令和5(2023)年度新収蔵品<br>7/13-9/29 |   |                            | Ways of Earth / ハンガリー・日本陶芸作家交流展<br>10/18-11/17 |    |                             |   |   |                             |                                 |  |
|                  | プロジェクトルーム (2F)                                       |                              |   |                              |   |                            |  |    |                             |   |   |                             |                                 |  |

国際陶磁器フェスティバル美濃'24 ← 10/18-11/17 →

## ギャラリーI 【特別展】

### うつわの**大・中・小**展

—大きさを、やきものを解剖する—  
Vessels large, medium and small  
Anatomy of Ceramics based on size  
2024年3月16日(土)―5月26日(日)



加藤土師明《黄地金襴手菊文蓋付大飾壺》1968年  
岐阜県現代陶芸美術館蔵

小皿や大壺など、やきものには色々なサイズがあります。本展では、普段それほど気に留めることのない「うつわ」の大きさに着目し、その背景を「解剖」していきます。そして、最大の器として皇居宮殿所蔵の姉妹作、加藤土師明《黄地金襴手菊文蓋付大飾壺》を初公開します。

### リサ・ラーソン展

知られざる創造の世界 —クラシックな名作とともに—  
Lisa Larson: Seen and Unseen  
2024年6月8日(土)―8月25日(日)

スウェーデンの陶芸家、リサ・ラーソン。本展では、彼女の代名詞ともいえる素朴で温かみを感じさせる動物や人物をモチーフとしたおなじみの名作とともに、これまで紹介される機会のなかった一品物の作品や、ガラスやブロンズなど異素材を扱った作品、そして互いに大きな影響を与え、生涯をともにした画家で夫のグンナル・ラーソンの作品など、知られざる創作の側面も紹介します。リサ・ラーソンの広く豊かな創造世界をお楽しみください。



リサ・ラーソン (ライオン (マキシ) / アフリカシリス)  
本モデルは1968年から製造。本作品は1968-1980年頃に製造  
© Lisa Larson / Alvaro Campo

### 「清流の国ぎふ」文化祭2024

#### 生誕130年 荒川豊蔵展

ARAKAWA TOYOZO: The 130th Anniversary of his Birth  
2024年11月30日(土)―2025年3月16日(日)



荒川豊蔵《志野水指》1941年頃 岐阜県現代陶芸美術館蔵

近代日本の陶芸をリードした、岐阜県多治見市出身の荒川豊蔵(1894-1985)の人となりを取り返る展覧会です。桃山時代の志野が美濃で焼かれていたことを、自ら発見した陶片により実証し、そして「志野」と「瀬戸黒」の二つの重要無形文化財の保持者(人間国宝)となった荒川は、現代に続く美濃陶芸の先駆者でした。陶芸をはじめ書画や収集の品々のほか、交友や暮らしぶりをうかがう資料などで、その制作姿勢やまなごしを紹介します。

### 人間国宝 加藤孝造 追悼展

Living National Treasure  
KATO KOZO Memorial Exhibition  
2024年11月30日(土)―2025年3月16日(日)

重要無形文化財「瀬戸黒」の保持者(人間国宝)で、2023年に他界した加藤孝造の回顧展です。加藤は10代のごころより、画家を目指して日展(洋画)で入選を重ねますが、五代加藤幸兵衛、荒川豊蔵の指導によって陶芸の道に進み、穴窯での制作を追求しました。展覧会では、初期の洋画から岐阜県陶磁器試験場時代の鉄釉作品、独立後に終生挑んだ瀬戸黒をはじめ志野や黄瀬戸、さらには作陶の傍らで晩年まで描き続けた水墨画まで、そのすべてを紹介いたします。



加藤孝造《瀬戸黒茶碗》2013年頃 岐阜県現代陶芸美術館蔵

### 卒寿記念

#### 人間国宝 鈴木藏の志野展

Shino Type by SUZUKI Osamu,  
a Living National Treasure: In commemoration of his ninetieth birthday  
2025年3月29日(土)―6月1日(日)

美濃陶芸の現在を代表する重要無形文化財「志野」の保持者(人間国宝)、鈴木藏(1934年生まれ)の力強い表現力を紹介します。薪窯でしかできないとされていた志野をガス窯で焼成し、美濃桃山陶の伝統表現を現代の心と技で革新してきました。卒寿を機に開催される本展では、70年以上にわたる作陶の軌跡をたどるとともに、鈴木藏の志野の真髄に触れていただけます。



鈴木藏《志野茶碗》2019年 個人蔵

## ギャラリーII 【企画展】

### やきもの いきもの

Ceramic Things, Living Things  
令和4(2022)年度新収蔵品  
Exhibition of the New Acquisition in 2022  
2024年4月20日(土)―6月30日(日)

### 東海の陶造形

Artistic Ceramics in Tokai Region  
令和5(2023)年度新収蔵品  
Exhibition of the New Acquisition in 2023  
2024年7月13日(土)―9月29日(日)

### 「清流の国ぎふ」文化祭2024

Ways of Earth  
ハンガリー・日本陶芸作家交流展  
Ways of Earth  
2024年10月18日(金)―11月17日(日)

### MoMCAグローイング・プロジェクト そだてる☆

MoMCA Growing / Glowing Project  
コレクション・ハイライト  
Collection Highlights  
2024年11月30日(土)―2025年4月13日(日)

### 国際陶磁器フェスティバル美濃'24 美濃焼展(セラミックバレエ展) (仮称)

International Ceramics Festival '24 Mino, Japan  
Mino Ware (Exhibition of Ceramic Valley Mino, Japan) (tentative title)  
2024年10月18日(金)―11月17日(日)



Museum of Modern Ceramic Art, Gifu もむか

## 岐阜県現代陶芸美術館(MoMCA)の教育普及プログラム

岐阜県現代陶芸美術館では、様々な教育普及プログラムを開催しています。

### 季節のワークショップ

季節にあわせたやきもの表現に取り組むワークショップです。  
●年3回～ ●要事前申込 ●要制作費

### MoMCAの小さな図工室

展覧会を見て感じたことを色や形に残してお土産にして持ち帰ります。誰でも気軽に立ち寄って参加できる、造形ワークショップです。  
●年4回～ ●事前申込不要 ●参加無料(要観覧券)

### その他のワークショップ

素材や技法を理解したり、作家の見方や考え、海外の文化を知ったりするなど、体験しながら多様に学ぶワークショップです。  
●随時開催 ●要事前申込 ●要制作費(イベントによる)

### MoMCAやわらかアート・ツアー

感じたことや見つけたことをもとに、楽しく対話しながら展覧会を鑑賞します。子どもも大人も気軽に楽しめる、「やわらかい」鑑賞ツアーです。  
●年4回～ ●事前申込不要 ●参加無料(要観覧券)

### 先生と先生のたまごのための美術鑑賞会

開催中の展覧会で鑑賞プログラムを体験する鑑賞会です。鑑賞学習に取り組む学校の先生や教育を学ぶ学生の皆さんはもちろん、鑑賞学習に関心のある方なら、どなたでも参加していただけます。  
●随時開催 ●要事前申込 ●参加無料

### ギャラリートーク

当館学芸員が展示案内をします。作品に対する専門的な理解を深めていただけます。  
●展覧会開催中 月1回～ ●事前申込不要 ●参加無料(要観覧券)

🗨️ **学校美術館 — MoMCAが学校にやってきた!** 🗨️

当館コレクションから数点を県内小中学校に展示し、  
児童・生徒および地域のみなさんが鑑賞いただく機会をつくります。

プログラムの開催日や詳細、その他のイベントにつきましては、  
美術館ホームページ(<https://www.cpm-gifu.jp/museum/>)などをご確認ください。